



第118話 學生對決1337. 松井優征





真正讓北畠顯家
成為傳說的

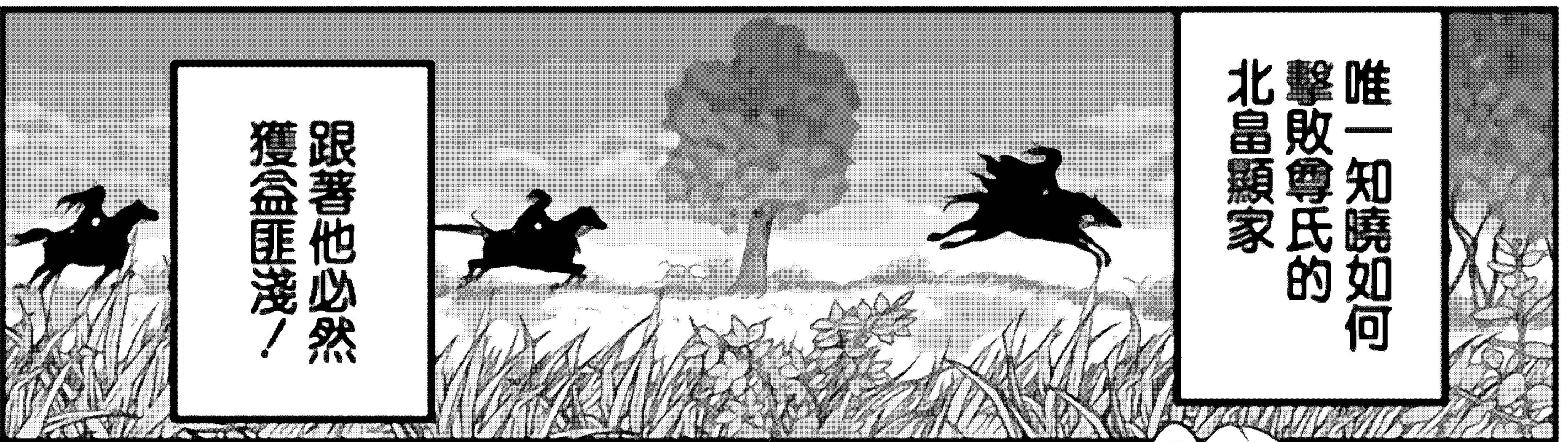
是他兩次往返於
奧州與京城的
爆速遠征

40 日 均
km

創造了日本史上
鎧武者行軍速度的
最快記錄

京城戰役的傳說
甚至轟動了伊豆

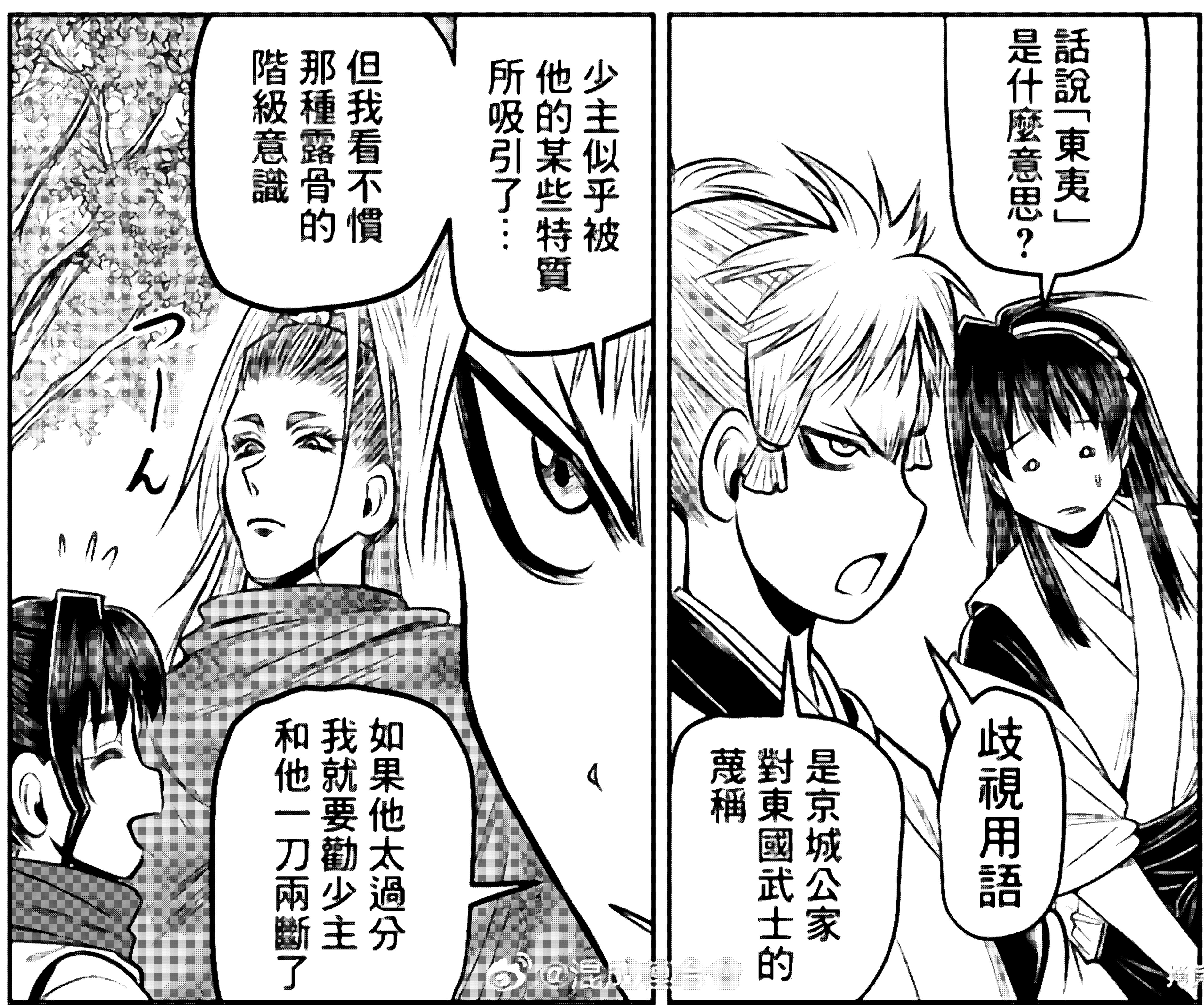
短短一十天
就前進了
600 km ...



翻譯

我不做人了

@



難以置信

我軍陣地
就在對岸
12km開外

這就是
目的地
利根川

信濃

現在只用了
一天一夜

利根川

今日

兩年前

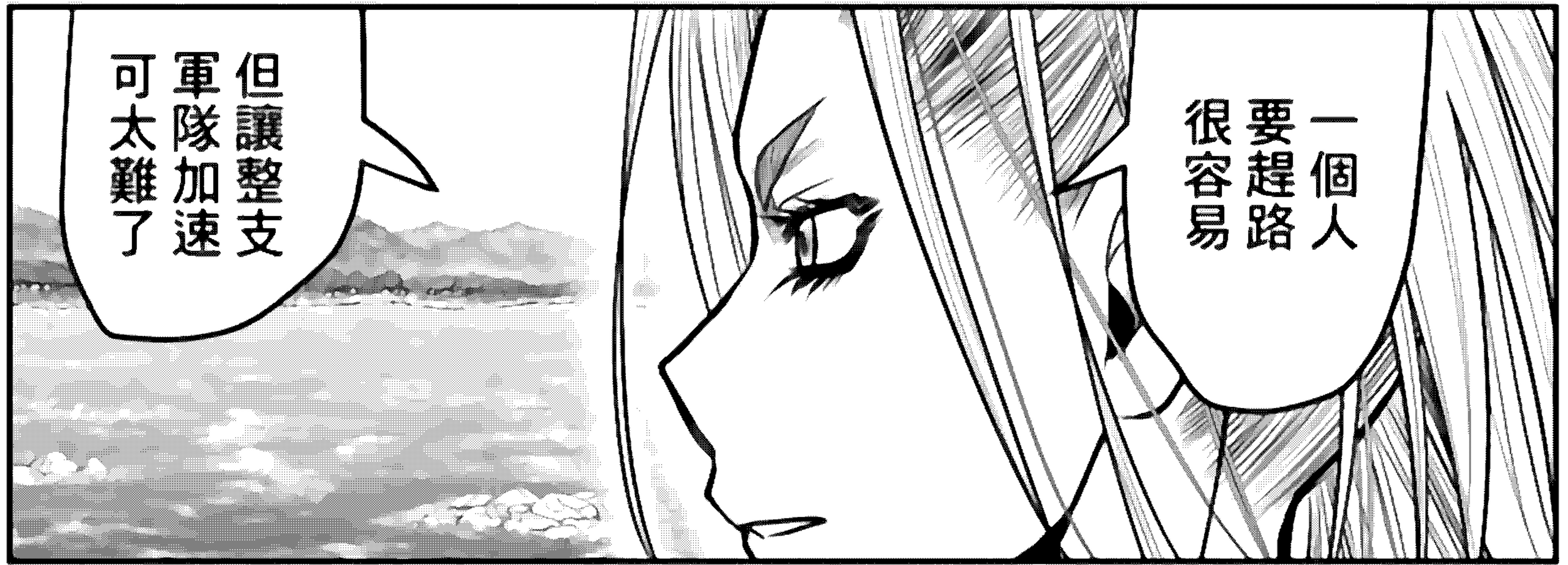
伊豆

鎌倉

換作兩年前
這個距離
得走五天

這個人一來
時間和距離
彷彿都被
打亂了

我在伊豆
默默蟄伏了
兩年





家長殿下

失禮了

現北朝
奧州總帥
兼
關東執事

原・
関東庇番
寄騎

斯波家長

十七歲

我是斷浪孫一郎

今天誓要替
齋川殿下他們報仇！









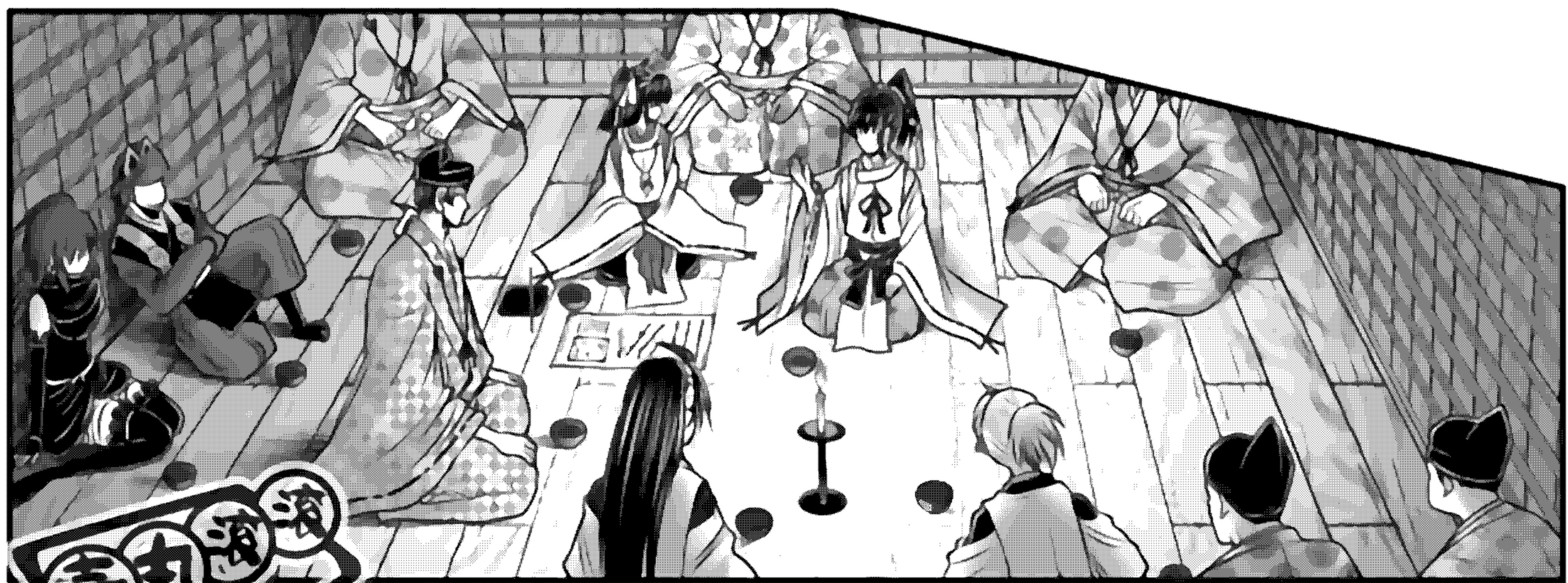
2017
歲歲和

好比現代的
高中生與
大學生

爭奪著整個
東日本的新權

在這
時代
異常的

一個小學生也
飛身加入了戰場





謀成連合會

我就一邊刺探
他們的軍情
一邊同行吧

如果能和
天狗衆接頭

就拿顯家軍的
情報和火藥
當見面禮以求復職

畢竟我
除了
依附足利活下去
別無選擇

雖然閃閃發光
異常出眾

但我怕他
眼裡根本沒有
我們這些下等人

我也很擔心
那位公家大人
是否真的可信

可是少主

利用完
之後

或許就會像
扔垃圾一樣
拋棄我們

@

歡迎加入漢化 測試群：648466051

那一點
就由戰爭來
檢驗吧

還成連合會

我們不清楚
他真正的才幹
他麾下的兵將
也素未謀面

在信濃時
我們是先認識了同伴
才開戰的

還請大家
和我一同體驗
未知的戰場！

這次就
一邊打仗
一邊了解
友軍吧

1337年
12月

北條時行
在箱根
再次舉兵



少主溜得快

第118話
本話完



漫畫

解説上手口 若君

京のお茶こそ至高！
頭家が飲んでいたお
茶の文化を解説する。

解説 本郷和人

1960年、電気工学専攻で
卒業。東京大学史哲論所の研究員として
こちまでテレビや雑誌に登場する。

当時のお茶について



お茶は、熱帯及び亜熱帯気候で生育する常緑樹、「チャノキ」(茶樹)の葉を摘んで、いれるものです。茶葉をどう加工するかにより、様々なお茶になる。たとえば、緑茶、白茶、黄茶、青茶(烏龍茶)、紅茶、黒茶の6種類に分類される。中国茶は、茶葉を摘んだらすぐに炒るのです。そのあとでよく揉み、乾燥して仕上げます。これに対して、日本茶は炒らずに蒸します。蒸したあとに揉んで作るのが煎茶であり、揉まずに碾茶とし、それを石臼でひいて粉末状にしたのが抹茶です。茶の湯は抹茶に湯を注ぎ、煎ります。

日本に本格的にお茶を紹介したのは、鎌倉時代初めての禪僧・榮西です。また、「茶道の祖」と呼ばれているのが、鎌倉時代後期の禪僧・南浦紹明(な

当時のお茶文化について
教えて！

お茶を使った遊びが誕生！

鎌倉時代には複数のお茶を飲み、その産地を当てる「闘茶」が上流階級の間で盛んに行われるようになった。

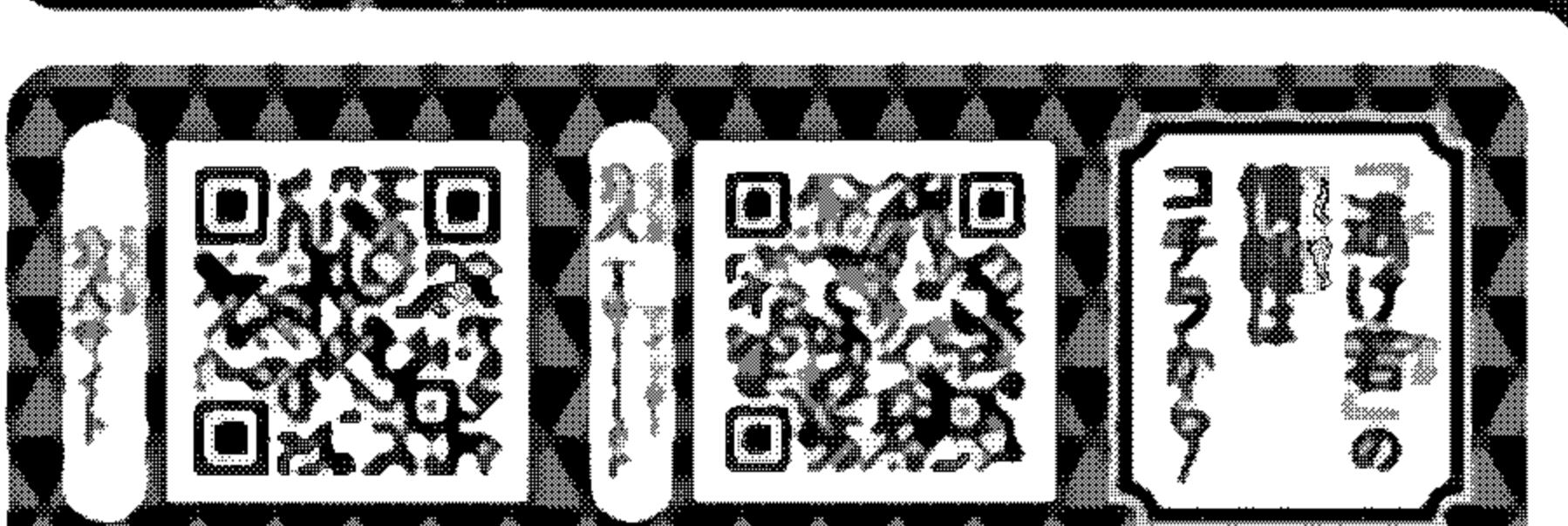
んぼじょうみょうとも。1235(1309年)です。南浦は鎌倉の建長寺で修業したあとに中国に渡り、帰國したあとは太宰府の崇福寺の住持を33年務めました。このことからすると、お抹茶のいれ方というのは、鎌倉時代後期から南北朝時代には試行錯誤の真っ最中であり、「これが旨い茶だ！」という決定版はできていない。安定的に言い茶が飲めるようになるのは、室町時代の後期と考へるべきではないでしょうか。とすると、京都の茶で口がこえた北島頭家が「東国の茶はまずい！」というのも、仕方ないのかな、と。



榮西が中国(宋)から持ち帰ったお茶の種は以西の相處に植えられた。闘茶はこの相處のお茶を本茶、それ以外のお茶を非茶として、本茶を当てる遊びだ。



頭家は弱い頭から貴族的な言葉を勧めていた貴族なので、お茶に詳しくうる百発百中のお茶の種類を当てそう…。



毒丸滾滾漢化

翻譯
我不做人了

卷末語

能迎來JUMP 55週年
&再次和NARUTO
在同一本雜志上连载
真的不勝榮幸！

校對

古今合璧丘

首登微博

@混成連合會

歡迎加入漢化

安字

今

測試群

648466051

順位 13 / 22
W J 2 0 2 3 N O . 33

少主溜得快

第 118 話

監製

今